

虹ヶ丘新聞

第79号

ホームのようなまち まちのようなホーム

発行／社会福祉法人与謝郡福祉会
高齡者総合福祉施設 虹ヶ丘
編集責任者／石本 晃一
住所：京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3
TEL：0772-43-2011
E-Mail：nijigaoka@yofuku.or.jp
URL：http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

『新たな年を迎えて』

令和4年を振り返りますと、その前の年と同様に新型コロナウイルスによる影響を大きく受けた一年となりました。7月には当施設でもクラスターが発生し、年末年始にかけても第8派の影響を大きく受けて、職員の陽性や濃厚接触によって通常業務がままならない状況も続きました。ご利用者ならびにご家族の皆様には大変なご不便とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

そのような中で、今年の5月8日以降は感染症法上の位置付けを「5類」に引き下げることが政府の方針として正式に決定されました。確かに、罹患しても軽症で済む方も多いと感じていますが、基礎疾患を有することが多い

ご高齢の方に対しては、施設内にウイルスを持ち込ませないといった基本的な感染予防または感染拡大を防止する対策の継続が必要ではないかと考えている次第です。

思い返せば、新型コロナウイルスの発生から丸3年が経過しました。今年こそ“withコロナ”から“afterコロナ”になることを見据えて、新たなステージへと移行する重要な年になると考えています。中止していた行事の再開や、地域との交流、そしていつでもご面会に来ていただけるようなご家族との関係性等。引き続き、ご利用者の皆様の安心・安全な生活を守るべく、今後も感染予防ならびに対策を行いながら、誰もが暮らしやすいと感じられる新しい日常が訪れることを祈るばかりです。

第8派による感染状況は少し落ち着きつつありますが、現状ではご面会の制限解除には至っていません。ご入居者・ご家族の皆様には、大変なご不便やご心配をおかけしておりますが、LINEやSkypeといったWebでのご面会も引き続きお受けしております。また、入居されている方のご様子等についても、お問い合わせをいただければその都度ご案内をさせていただきます。お気軽

にお電話くださいますようお願いいたします。

高齡者総合福祉施設 虹ヶ丘
施設長 石本 晃一

『月間デイ 1月号に掲載』

デイサービスでは季節ごとの作品作り（壁画）に取り組んでいます。例えば、春は「はなさかじいさん」、夏は「セタ」秋は「さるかに合戦」冬は「笠地蔵」の壁画を作成しています。また、お正月飾りには、段ボールや綿、丹後ちりめんなどを使って、立体的な門松を作りました。立派な作品が出来上がったので、月刊デイの「自慢のレク・クラフト大集合」に応募したところ、なんと『月刊デイ 2023年 1月号』に作品が掲載されました！！

一つの作品を作るにも、たくさんの工程があります。切る・貼る・折るだけでなく、縫う・編む・丸めるなど…ご利用者それぞれが、できる範囲で作業をされ、ひとつの素敵な作品が完成します。完成品を見て「ええのが出来た！」「立派だな」など、喜びの声飛び交いまし



竹は段ボールを使用して立体的に作成し、葉牡丹は丹後ちりめんを使って葉を1枚ずつ作りました。制作手順をお伝えしながら楽しく制作することができました。

た。今後のデイサービスの作品にも乞うご期待ください。

『月に一度のお楽しみ』

2月3日節分の日。神宮寺のお昼ご飯に、皆さまの

『幸福を逃さず

巻き込む』た

め、手作りの恵

方巻を頂きました。

もちろん丸

かじりは難しい

ので、切ってお

出ししましたが、箸を配る前から巻き

寿司の皿に手が伸びつまみ食い。その

ままあつという間にぺろりと一本分召

し上がられました。

2月のもう一つのイベント。バレンタ

インデーと合わせた、神宮寺の2月の

壁画『神宮寺のチョコ太郎』を一緒に

制作。昼食後には、童話「桃太郎」を

パロディで『神宮寺のチョコ太郎』を

職員が浪曲風に話すのを楽しく聞き、

その後突如登場した二頭の鬼に向かって

て、豆まきならぬ新聞を丸めて投げる

ゲームを楽しみました。時々鬼ではな

くご利用者同士の背中に丸めた新聞が

当たるのもご愛嬌。マスク越しですが



ヘルパー「季節の飾りつけ」

ヘルパーはほとんどの訪問先に出て、ヘルパーステーションには誰もいないことが多く、電気も消えた寂しい部屋でした。そこで、『明るく雰囲気の良い環境を作る』という目標を掲げ、訪問から帰ってきてホッとできるような場所にしようと色々工夫を始めました。



お花紙で花を作ってみたり、デイサービスやショートステイのように季節の飾り物を作ってみようかと話をすると、ヘルパーの中に折り紙の名手が現れました。毎月その季節を表す素敵な作品を作ってくれます。写真は2月の作品です。こんな風に季節感のある折り紙で、部屋が賑やかになり、休憩中は折り紙を眺めてくつろげる空間となりました。また、私たちが季節を感じられると、自然にご利用者宅でもその話題となり、話題づくりにも役立っています。可愛く、ユーモラスで、細かい所にまで工夫を凝らした折り紙作品が貼ってあるヘルパーステーションをぜひ一度ご覧ください。(ヘルパー)

『楽しいクリスマス会』



毎年恒例のクリスマス会を12月23日に開催しました。クリスマスプレゼントは、事前に希望の品を伺って準備していましたが、ただプレゼントを渡すのでは芸がないので、ビンゴが出るまでプレゼントをもらえない、ビンゴ大会を行いました。皆さまそれぞれに楽しまれていて、「次は何番ですか?」とビンゴの数字に耳を傾け、カードをじっと見つめておられました。お待ちかねの番号が出ると「ありましたー」ととても盛り上がりました。ビンゴ大会の後は、職員手作りのクリスマスケーキでお祝い。皆さまご満悦でした。(東2番組)

『西3番組の便利』

新型コロナウイルスの蔓延以降、施設全体での行事ができなくなっています。そのため、西3番組でもユニットにてクリスマスをお祝いしました。

西3番組でも、職員が担当のご入居者にプレゼントを準備し、当日はサンタさんをお願いして配ってもらいました。ささやかではありましたが皆さまに喜んでいただき、笑顔になってもら

えたと思います。クリスマスケーキも職員の手作りです。「美味しい」と言っていたいただき、サンタさんにもおすそ分けをしました。今年こそ、外出や色々な行事が、コロナ前のように実施できるところを祈っています。(西3番組)



『デイルームの模様替え』

コロナが長引き、体操や喫茶もできずデイルームで過ごすことが多くなっています。そんな中、新年を気持ちよく迎えられるようデイルームの大規模な模様替えをしました。まずは職員で相談して図面を作成。それを基に全てのテーブルの位置を替え、パーテーションを作り直しました。併せて断捨離も…おしゃべりが好きな方、ひとりで過ごすのが好きな方、TVが大好きな方、皆さまの希望を伺いながら。少しでも快適に過ごせるよう動線の確保など、細かな修正を行った新しいデイルームはご入居者にも好評です。お昼寝が出来る秘密のソファもありますよ。

今後もご入居者の皆さまに、快適で安全に過ごしていただけるよう、相談しながら模様替えがしたいです。2023年も西2番組のデイルームで皆さま

んと元気で楽しく過ごせますように…写真は寒波が明けた朝、中庭で撮った写真です。ぴよんぴよん飛び跳ねた跡。今年は兎年、可愛い姿を見せてくれるかな。(西2番組)



『手作りおやつ!』



新型コロナウイルスの影響もあり、中タイイベントや行事が行いにくい最近ではありますが、ご入居者に美味しいものを食べてもらいたく、東1番組ではひと月に一回、手作りおやつを作っています。コロナの影響で一緒に作ることができないため、香りだけでもと、写真のフレンチトーストをホットプレートで作りました。皆さま「美味しかった。また作って」と言われ、ミキサー食のご入居者もパクパクと食べてもらえました。これからも喜んでもらえる活動をしてきたいです!

今年は畑で野菜作りも考えており、上手くできれば野菜を使った料理もしたいと思っています。その頃には一緒に作れたらいいな(東1番組)